

令和7年度第2回甲賀市スポーツ推進審議会 概要報告

1. 開催方式 書面開催
2. 協議内容
 - ・「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大会」開催のレガシーについて
3. 配布資料
 - ・わたSHIGA輝く国スポ・障スポ大会 開催のレガシーについて
 - ・第79回国民スポーツ大会及び第24回全国障害者スポーツ大会甲賀市開催競技会の結果について

4. 主な意見

【国スポ・障スポ大会のレガシーに関する意見】

- ・国スポ・障スポ大会のレガシーに関する意見・資料を確認し、大会が盛大に開催され、多くの方々の協力によって市が一つになったと感じた。
- ・大会結果の冊子は、選手だけでなくスタッフや地域の人々も多く取り上げられており、見ごたえがあった。
- ・選手の記録も分かりやすくまとめられていた。自分も高校時代に国体に出場した経験があり、このように記録が残ることで自信を持てた。非常に良い冊子だと思う。

【その他スポーツ振興についての意見】

- ・スポーツ少年団では年に一度、広報誌を発行している。配布は市内の各小学校や体育館などで行い、活動内容や各スポーツ少年団の紹介を掲載している。
- ・スポーツ少年団の指導者は資格を持たなければ指導できず、各自が有料で登録し、4年ごとに講習を受講することが義務付けられている。こうした指導者が将来を担う子どもたちを指導している。
- ・甲賀市スポーツ少年団では年2回、ACP（親子運動遊び）や競技体験会を実施している。子どもたちがどのようなスポーツに興味を持つかを知り、親子で体験できる機会となっている。ACPの指導は有資格者が担当している。
- ・甲賀市スポーツ少年団の活動は入団者の会費と補助金をもとに行っており、指導者はボランティアとして携わっている。育成会の協力もあり、子どもたちの成長は多くの支えによって成り立っている。
- ・スポーツ少年団は、子どもたちがスポーツを始めるきっかけづくりの役割を担っていると考えている。
- ・今後もスポーツ振興のため、市内保育園における運動遊びや体づくりの環境を整え、さらに充実させていきたい。